

行政視察 菅原 達 議員

日時: 令和6年2月5日(月)～2月7日(水)

場所: 愛知県小牧市、兵庫県明石市

区間	交通手段		鉄道賃		特急急行	飛行機	その他	計
			キロ	金額				
佐野駅～北千住駅	鉄道	往	79.0	920	1,050			1,970
北千住駅～名古屋駅	鉄道	往	377.0	6,380	4,720			11,100
名古屋駅～小牧駅	鉄道	往復	35.6	1,140				1,140
名古屋駅～明石駅	鉄道	往	249.7	4,510	3,730			8,240
明石駅～明石市役所前	バス	往復					460	460
明石駅～新神戸駅	鉄道	復	23.2	620				620
新神戸駅～北千住駅	鉄道	復	600.5	9,460	5,830			15,290
北千住駅～佐野駅	鉄道	復	79.0	920	1,250			2,170
計				23,950	16,580	0	460	40,990

宿泊料@16,500×2泊	33,000 円
交通費	40,990 円
(うち航空運賃)	0 円)
計	73,990 円

上記の金額は、佐野市職員等の旅費に関する条例及び佐野市職員等の旅費支給規則により算出した金額である。

議事課庶務係長 岩上 裕一

※金額や発行元などが、枠内に収まるよう、また重ならないように添付してください。

2024年02月04日
一連No0905
領収No0011

領 収 書

様

¥5,110-

(但し として、正に領収致しました)
印刷面を内側に折って保管願います

外税対象 10.0% ¥1,700
外税 ¥170

外税対象※8.0% ¥3,000
外税※ ¥240

消費税合計 ¥410

加藤米菓本店

栃木県佐野市久保町214
電話 0283-22-1554
登録番号 T8810857200181

5/10円÷3 = 1703円

加藤米菓本店

栃木県佐野市久保町214
電話 0283-22-1554
登録番号 T8810857200181

毎度ありがとうございます

2024年02月04日 10:31
0905

2 点 @1,500
せんべい ※ ¥3,000
1 点 @800
送料 外 ¥800
1 点 @900
送料 外 ¥900

外税対象 10.0% ¥1,700
外税 ¥170
外税対象※8.0% ¥3,000
外税※ ¥240
消費税合計 ¥410

現金 ¥5,110

注) ※は軽減税率適用

公明党議員会による行政視察 報告書

令和6年3月25日 菅原 達

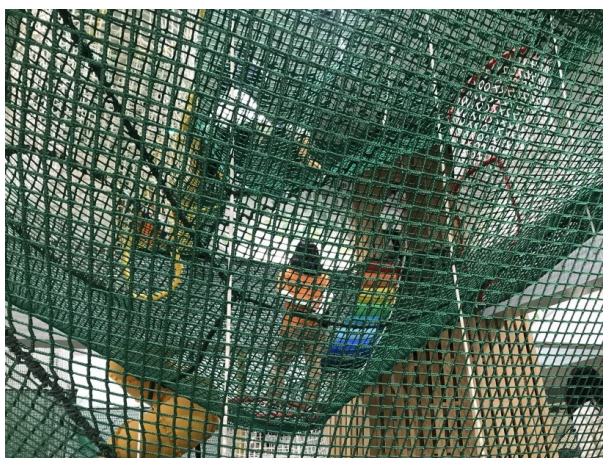
1. 視察概要	令和6年2月5日	愛知県小牧市「こまきこども未来館」の現地調査
	同2月6日	兵庫県明石市「子育て支援」に関する調査
		①市内全公立幼稚園給食実施について
		②中学校の給食無償化について

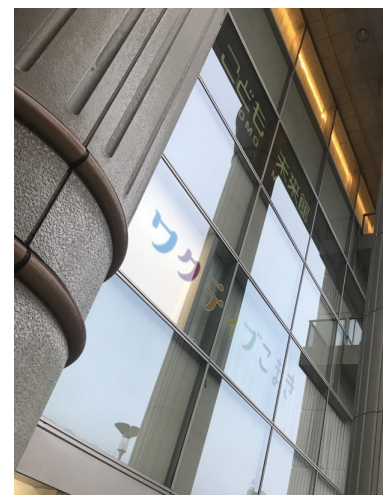
2. 内容

(1)小牧市「こまきこども未来館」について

- ①「こども夢・チャレンジ NO.1 都市宣言」の理念を実現するため、空床化が深刻化する既存の商業施設の一部を転用し、多世代交流プラザとして再構築した施設となります。
- ②整備にあたっては、基本構想から設計、運営に至るまで、複数回のワークショップを開催し、様々な世代の市民や有識者などの意見を反映してきたとのことです。
- ③具体的には、商業施設の郊外化で空き床となっていた駅前再開発ビルの一部を改修し、既存の児童館機能の移転・拡充に留まらず、駅前の立地環境を活かした新図書館や駅前広場との連携により、世代を越えた交流の場を創出し無機質だった商業的な空間を、明るく開放的な広場に改修。
- ④3つのフロアを対象年齢（幼児・小学生・中学生以上）でエリアに分け、年齢に合わせた多様な遊び・学びのコンテンツを整備。その3つのフロアが象徴的なシンボルツリーを配した吹抜空間で繋がっているところが特徴的です。
- ⑤また、セキュリティに配慮しつつ、建物の色々な場所からこどもの活動が感じられる活気ある施設づくりを心掛けております。
- ⑥その甲斐あってか、基本は「児童館」でありながら「子育て世代包括支援センター」が併設され、「一時預かり」「音楽スタジオ」「ダンススタジオ」などの様々な機能が盛り込まれ、利用者アンケートで99%が「また来たい」と言ってくれているとのこと。
- ⑦中部大学・名古屋造形大学・名古屋芸術大学と連携協定を結び、さらに165の個人と94の団体企業が「未来館サポーター」に登録し様々な講座を開設するなど、“本物に触れる機会”への配慮と、“地域との連携”も図れており、“地域ぐるみで子育てを！”との気概を強く感じる施設となっています。
- ⑧何より、受付と講座を外部に委託する以外は市の直営で、児童厚生員を18名配置するなど、子育てに“本気”で臨む行政の姿勢に学ばせていただき、未来のこどもたちには“こどもだまし”は通用せず、“本物”が大切であることを学ばせていただきました。

《施設の様子》





(2) 明石市の子育て支援について

(2)-1 市内全公立幼稚園給食実施について

- ① 2020 年 9 月から、市内の全園で外部搬入方式による給食が実施される。
実施にあたっては特に反対意見はなく、プロポーザルによる選定、年 3 回の給食委員会での情報共有、異物混入への対応、保護者参加による試食会、アンケートの実施、給食だよりの発行（毎月）、サイクル献立などに配慮している。
- ② 幼稚園給食の実施以前から、2019 年 10 月からスタートした国の「幼児教育保育の無償化」と合わせ、国の無償化施策では保護者負担となる給食費のうち、2016 年から市独自に実施している「第 2 子以降保育料無料化事業」で対象としている副食費を引き続き無料化するとともに、これまで市の無料化事業では対象としていなかった 3～5 歳児の副食費の無料化も独自に行っている。
- ③ そんな中、幼稚園における給食を開始した背景には、特に待機児童の多い 0 歳から 2 歳児の受入れ先である小規模保育園の連携先に「市立幼稚園」が選ばれやすくなるようにするための策を講じることにあり、これにより、待機児童の解消により一層努めようとするものであります。

- ④幼稚園給食の実施により得られた効果としては、園児数の増加と保護者の負担軽減にあり、スタート当初（2020 年 9 月）の給食申し込み状況は 80.4%であったものが、2022 年度には 88.4%、2023 年度には 90.9%と、増加傾向を示しており、園児数も 2019 年度から増加に転じている。
- ⑤幼稚園給食実施に必要な財政負担は、2022 年度決算ベースで 250,738（千円）、2023 年度予算ベースで 260,000（千円）が委託費として計上されており、民間施設に対しては、副食費として 2 億円の補助が行われている。

(2)-2 中学校の給食無償化について

- ①令和 2 年度から市内全中学校（13 校）で給食費の無償化が実施され、生徒 7,500 人分（教員含め 8,000 食）の給食のうち、生活保護世帯を除く 6,300 人に対して無償化事業による補助が行われている。
- ②給食の無償化に先立ち、平成 30 年度から市内の全校で給食の供給が開始となり、センター方式により市内 2 か所の提供されている。
- ③その補助に掛かる財源は、令和元年 10 月から実施された国の幼児教育・保育の無償化によって、それまで自主財源で行っていた、第 2 子以降の保育料無償化の財源 7 億 5 千万円のうち 3 億 5 千万円を充当することで、令和 2 年度からの実施が可能になったものであり、幼保無償化が無ければ実現に至らなかった事業である。
- ④公立学校の中でも、小学校給食については財政負担が大きく実施が難しいことと、中学校の方が家庭の財政負担が大きいことから、中学校給食の無償化に実施に至ったもので、小学校給食については国の無償化に期待している。
- ⑤学校給食法第 11 条の解釈については、「保護者の負担軽減は妨げない」との文科省の見解を拠り所としている。
- ⑥給食費の補助に関しては、サービス支給が原則だが、アレルギーなどで支給を受けられない生徒へは、現金支給している。

3. 所感

佐野市における子育て支援の充実に向けた先進地視察を行ったが、いずれの先進地においても、掛けた費用以上の成果が表れていると感じるとともに、成果を出すための施策は中途半端であってはならず、それなりの予算を伴った大胆な施策が必要であると感じた。

佐野市においても、こどもを真ん中にした社会を目指す上で、今回の視察研修の取り組みを参考にしていきたい。

以上